

# 岩手県感染症週報

平成15年第35週（8月25日～8月31日）

岩手県結核 感染症情報センター

## 第35週の概要

### 1類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

### 2類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

### 4類感染症（全数把握対象疾患）

- ・急性ウイルス性肝炎の報告が二戸地区から1例ありました。

### 4類感染症（定点把握対象疾患）

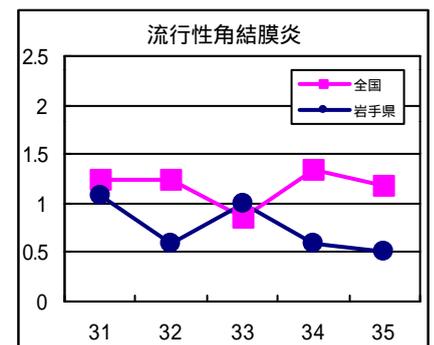
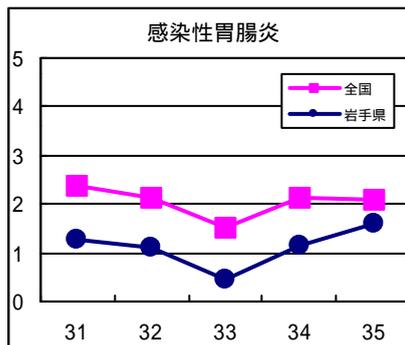
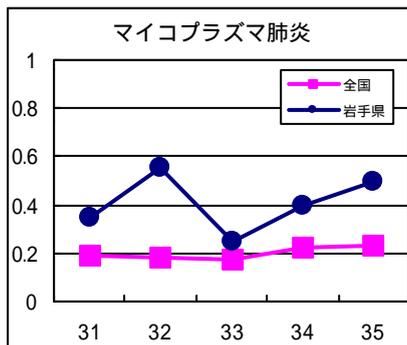
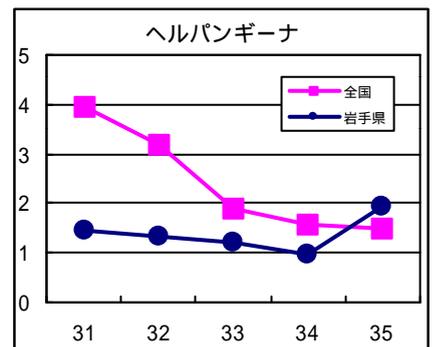
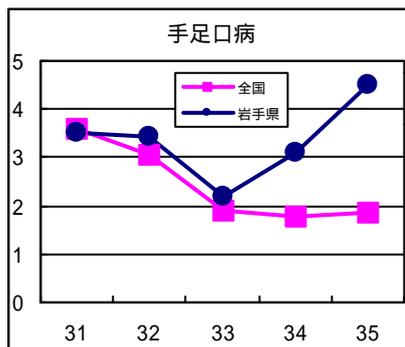
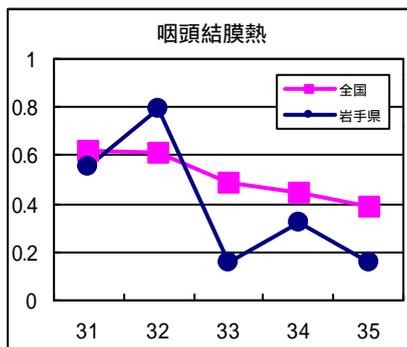
- ・手足口病は一時期減少傾向にありましたが、前週から患者数は増加を続けています。この週には花巻、水沢、宮古、久慈の各地区で患者数が警報値（定点当たり患者数 5.0）を超えました。手足口病の病原体は咳などで生じる飛沫のほかに、水疱の内容物や糞便にも排出されるので、感染の予防には十分な手洗いが重要です。
- ・咽頭結膜熱は、患者数は前週の半分に減少しました。
- ・ヘルパンギーナは前週まで患者数は減少を続けていましたが、この週には各地で増加に転じ、患者発生数は前週の約2倍となりました。

### 3類感染症

- ・盛岡地区で腸管出血性大腸菌0157による感染が2例、0103が1例ありました。0157による感染例は家族内での感染が疑われています。

## 最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		31	32	33	34	35		
インフルエンザ	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
咽頭結膜熱	岩手県	0.55	0.79	0.16	0.32	0.16	↘	
	全国	0.62	0.61	0.49	0.45	0.39		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.37	0.39	0.21	0.53	0.37	→	
	全国	0.68	0.5	0.34	0.44	0.42		
感染性胃腸炎	岩手県	1.29	1.11	0.45	1.16	1.58	→	
	全国	2.38	2.12	1.51	2.13	2.08		
水痘	岩手県	1.24	1.71	1.24	1.42	1.24	→	
	全国	1.08	0.87	0.72	0.67	0.63		
手足口病	岩手県	3.5	3.45	2.21	3.11	4.5	↗	
	全国	3.59	3.07	1.91	1.79	1.85		
伝染性紅斑	岩手県	0.11	0.05	0.03	0.13	0.16	→	
	全国	0.29	0.24	0.13	0.28	0.2		
突発性発疹	岩手県	0.63	0.71	0.53	0.47	0.68	→	
	全国	0.85	0.82	0.63	0.84	0.92		
百日咳	岩手県	0	0.03	0	0.03	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02		
風疹	岩手県	0	0.03	0	0	0.03	→	
	全国	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	1.47	1.34	1.21	0.95	1.92	↗	
	全国	3.96	3.17	1.91	1.57	1.5		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0.05	0.08	0.05	0.08	0	→	
	全国	0.05	0.04	0.02	0.03	0.02		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.55	0.55	0.29	0.53	0.37	→	
	全国	0.62	0.53	0.42	0.49	0.39		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.04	0.04	0.02	0.04	0.04		
流行性角結膜炎	岩手県	1.08	0.58	1	0.58	0.5	→	
	全国	1.25	1.23	0.86	1.35	1.17		
急性脳炎（日本脳炎を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0.01		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.02	0.01	0.01	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0.05	0	→	
	全国	0.2	0.18	0.12	0.14	0.1		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.35	0.55	0.25	0.4	0.5	→	
	全国	0.19	0.18	0.17	0.22	0.23		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0.01	0.01	0	0		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0	0.01	0.01	0.01		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↘ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↗ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	岩手県					全国		
		31	32	33	34	35	累計	35	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	1	13
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	8	8	300
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	38
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	22
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	4	12	7	3	39	156	1660
四類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	3	8	333
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	13
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	1	0	34
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	1	1	12	3	510
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	6
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	5
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	0	75
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	42
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	8	573
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	67
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	15
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	1
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	5	0	135
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	21
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	5	29
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳児ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	2	3	318
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	43
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	43
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
マラリア	0	0	0	0	0	0	0	52	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	4	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	1	91	
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

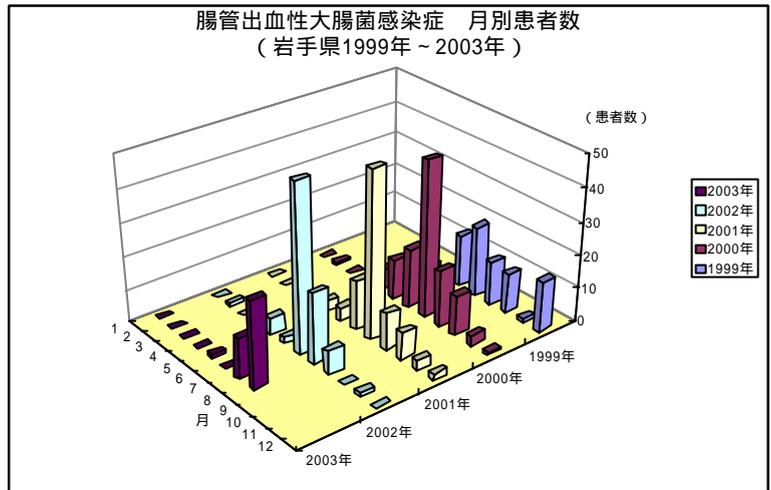
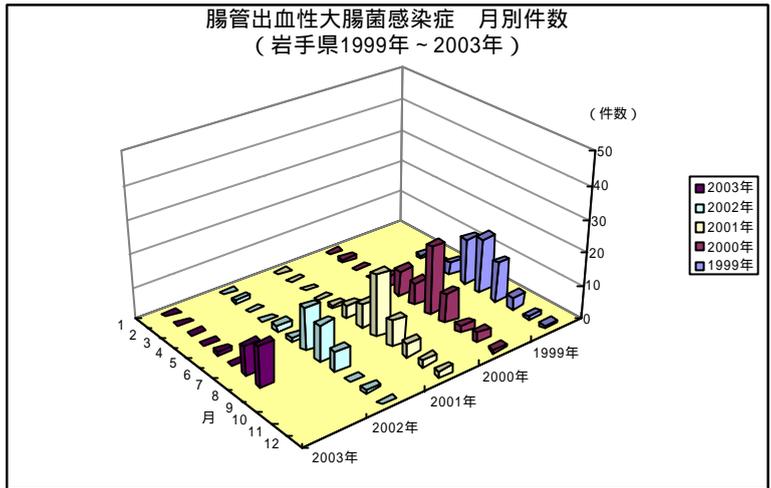
今注目の感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症はこの夏、各地で散発事例が発生しています。この週の新たな感染事例はいずれも盛岡地区で、O157が2件、O103が1件発生しました。本県の患者数総計（平成15年）は39名です。

多くの事例で、こどもが発症して感染が判明した後、保健所が行った調査で他の家族が感染していることが確認されています。抵抗力の弱いこどもやお年寄りなどでは、しばしば溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症などを併発し、ときには命に関わることもあります。

感染の予防には、一般的な細菌性食中毒予防の三原則（菌をつけない、増やさない、殺菌する）が有効です。十分に手を洗う、調理器具などを消毒する、食品はよく加熱するなど、今の季節では厳重な注意が必要です。

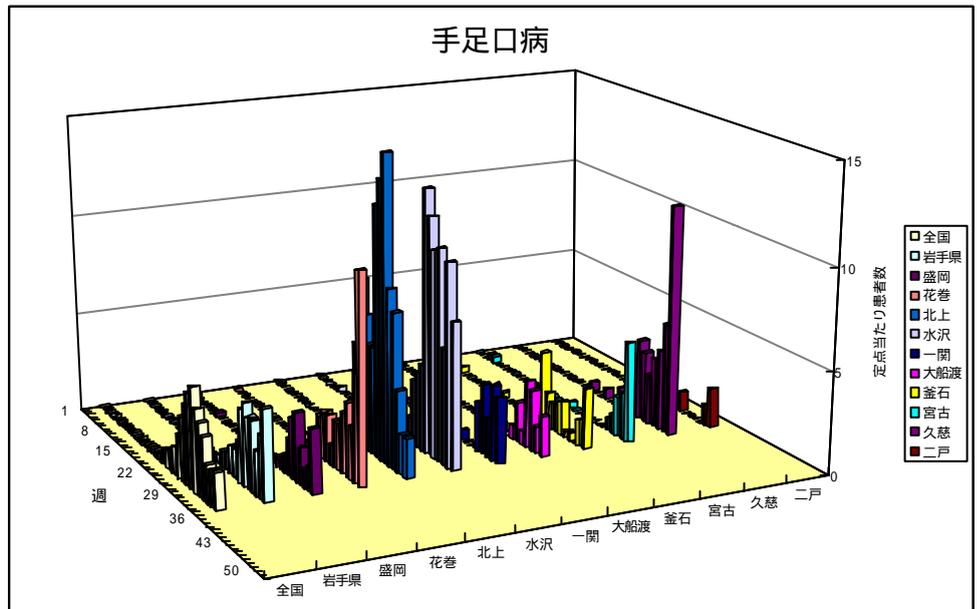


手足口病

手足口病は一時期減少傾向にありましたが、前週から増加に転じています。北上地区では流行のピークを越えたものと思われませんが、他の地区では患者数は増加しています。保育園での集団発生例の情報もあり、今後とも注意が必要です。

県内で発生した患者からは、エンテロウイルスの一種であるコクサッキーA群ウイルス16型が検出されています。

このウイルスは、腸管内でも増殖し、糞便中とともに排出されるので、感染の予防には十分な手洗いが重要です。



## 病原体検出情報

- ・発疹症の患者（1～3歳）の咽頭拭い液からコクサッキーA群ウイルス9型を3例検出しました。
- ・急性脳炎の患者（1ヶ月）の髄液からコクサッキーA群ウイルス9型を1例検出しました。
- ・急性胃腸炎の患者（10歳）の糞便からコクサッキーA群ウイルス4型を1例検出しました。
- ・ヘルパンギーナの患者（4歳）の咽頭拭い液からアデノウイルス2型を1例検出しました。

## 集団感染情報

- ・この週には集団感染の情報はありません。

## 医療機関からの情報

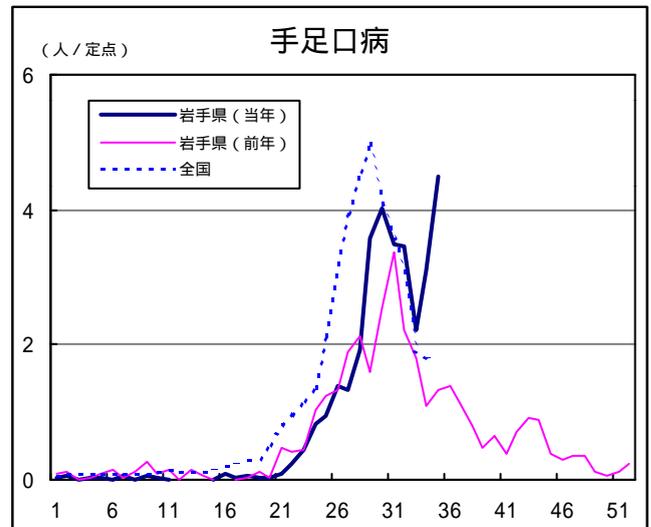
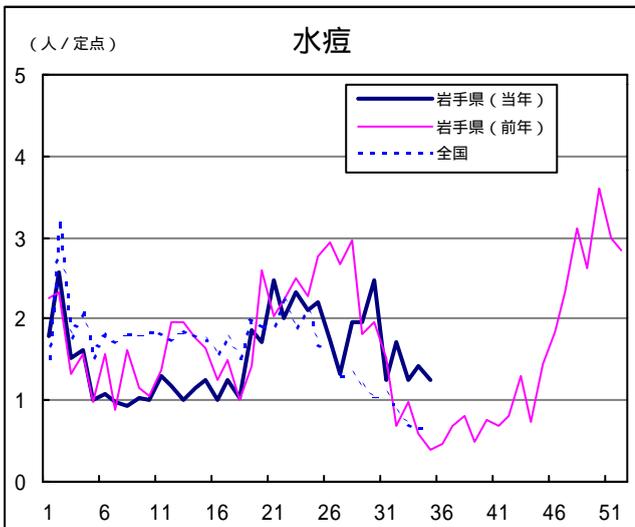
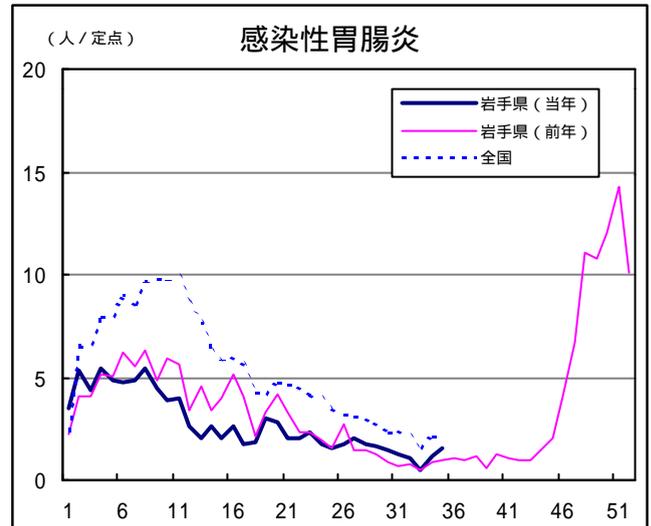
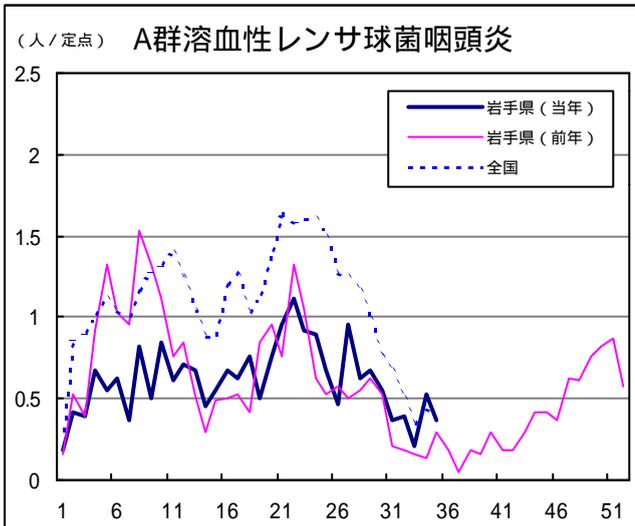
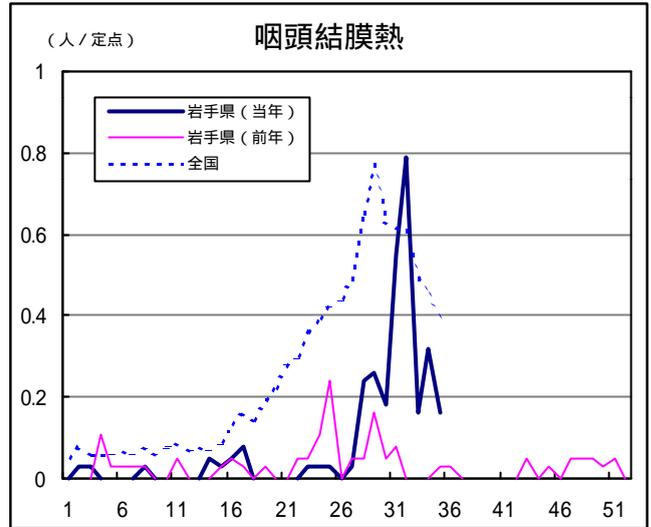
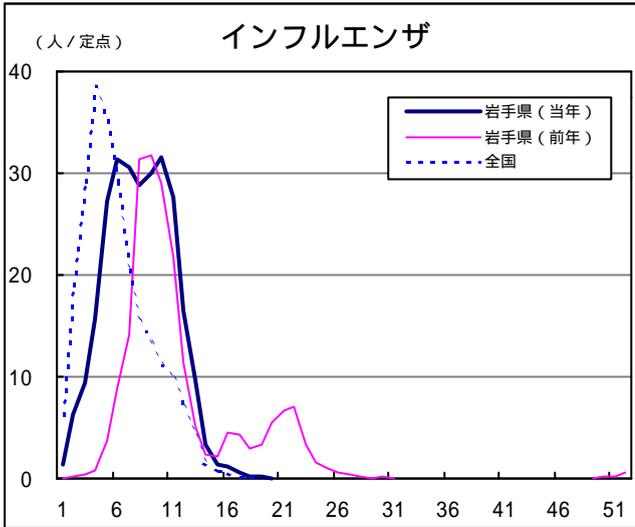
- 盛岡地区の医療機関（小児科）から
- ・複数の保育園で手足口病の集団感染が発生している。また、A保育園では口内疹が多くB保育園では手足の水疱が中心、というように、発生している保育園の事例によって患者の症状が異なるようだ。

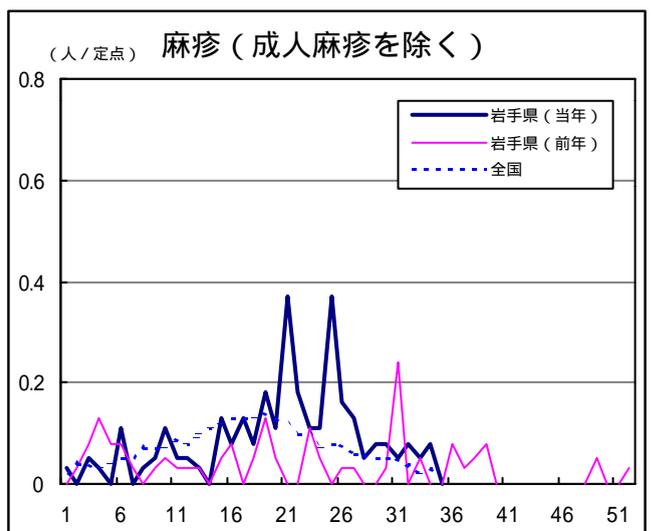
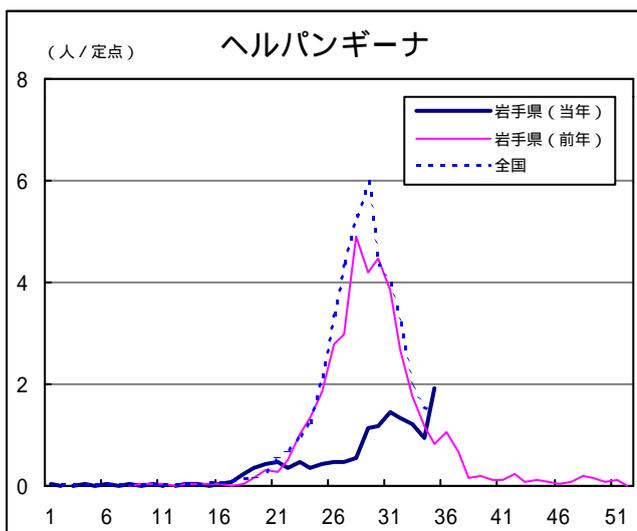
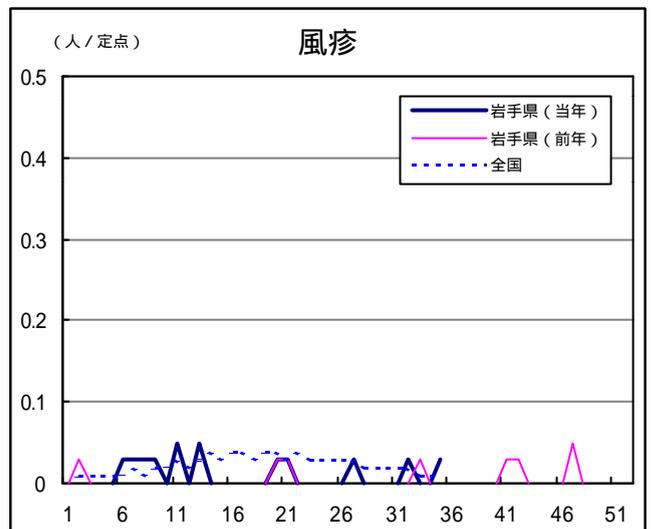
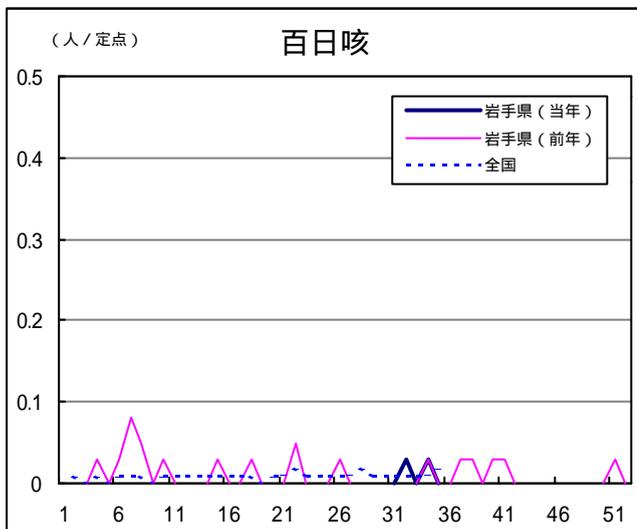
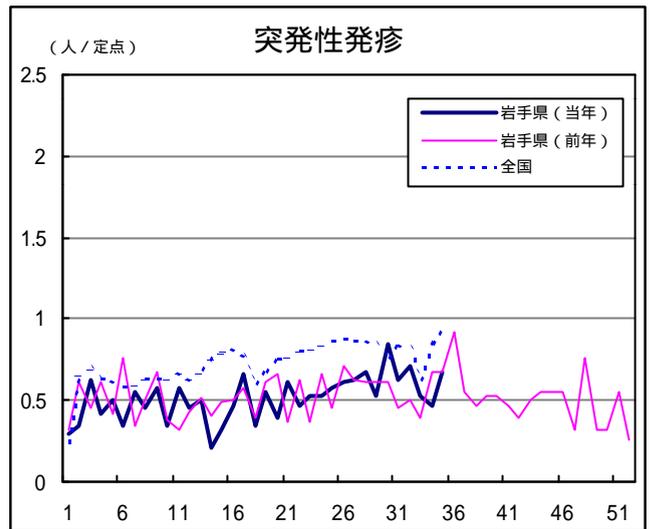
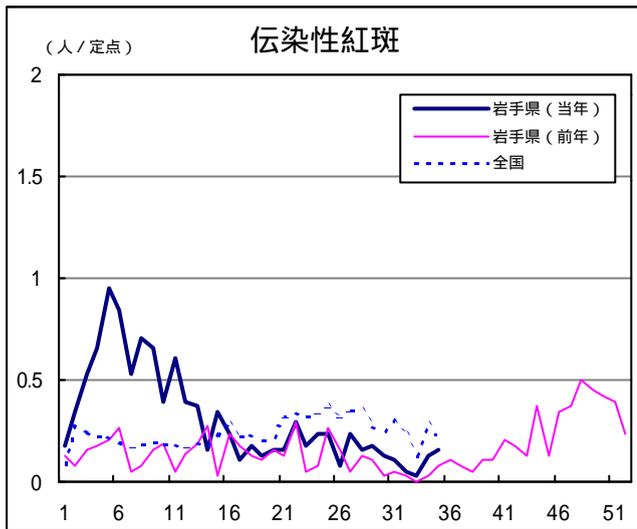
## Q & A

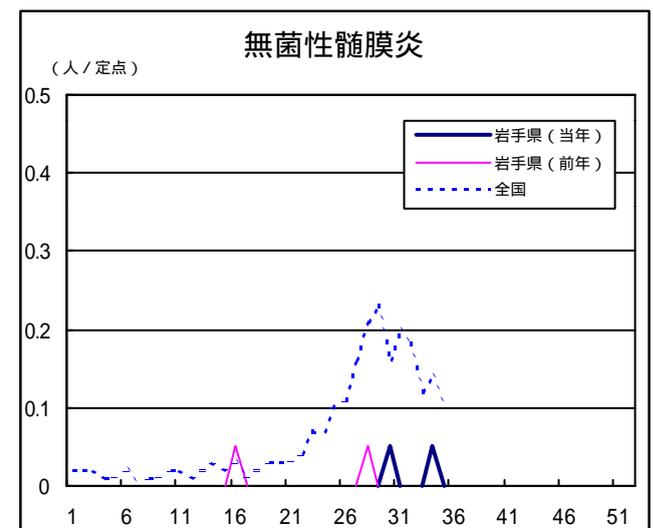
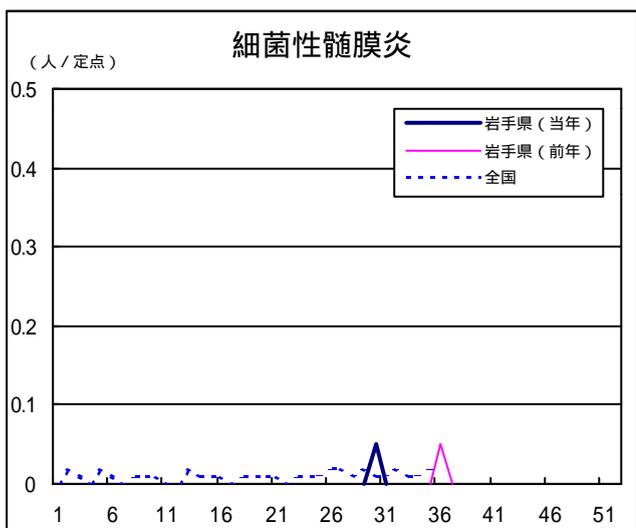
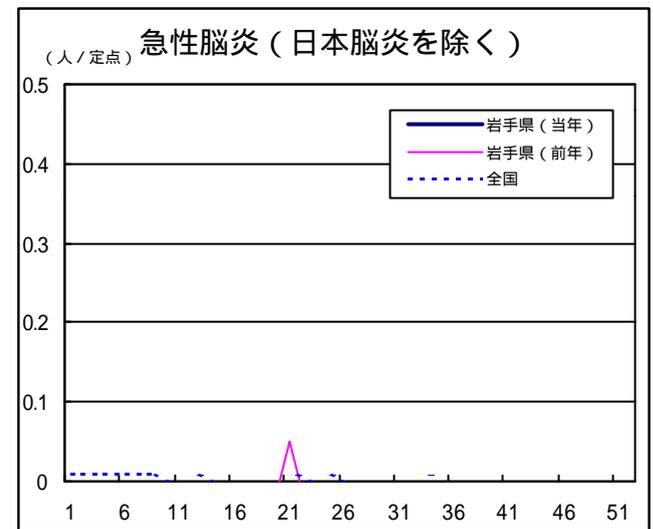
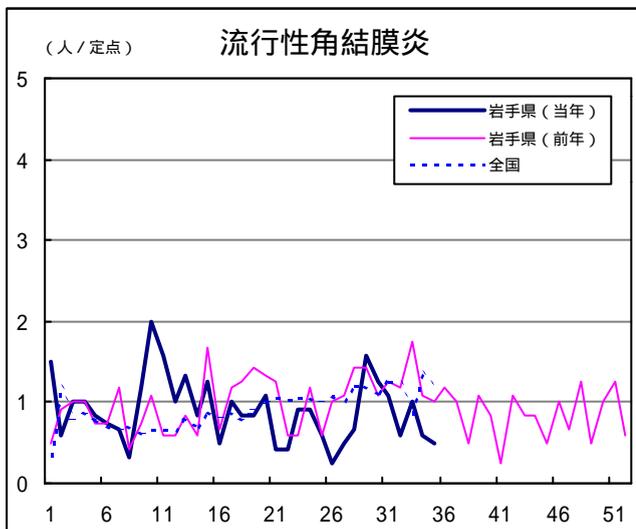
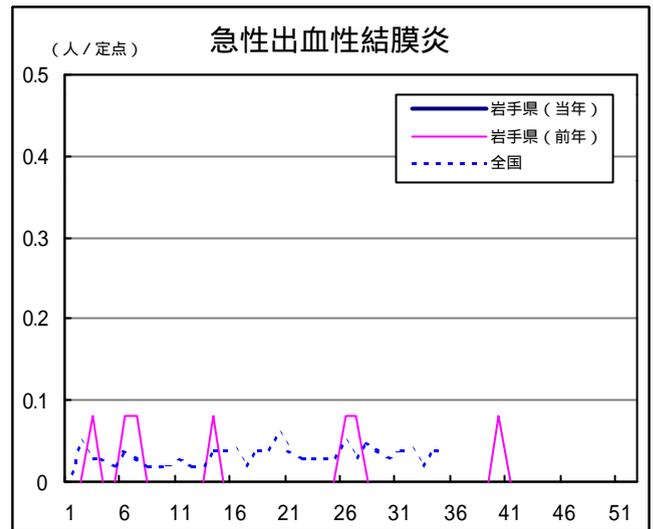
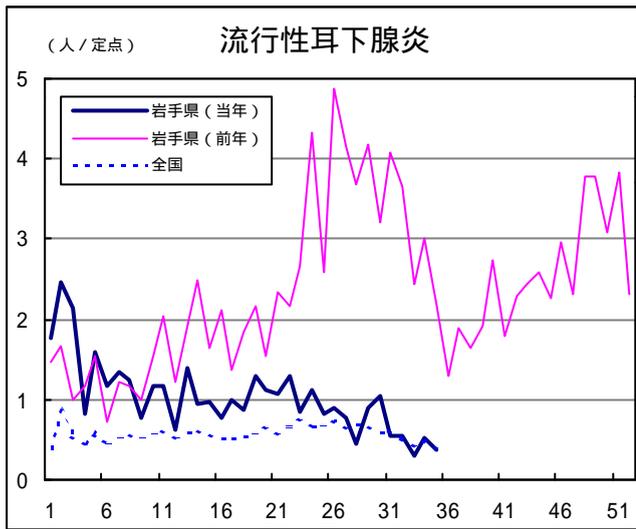
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

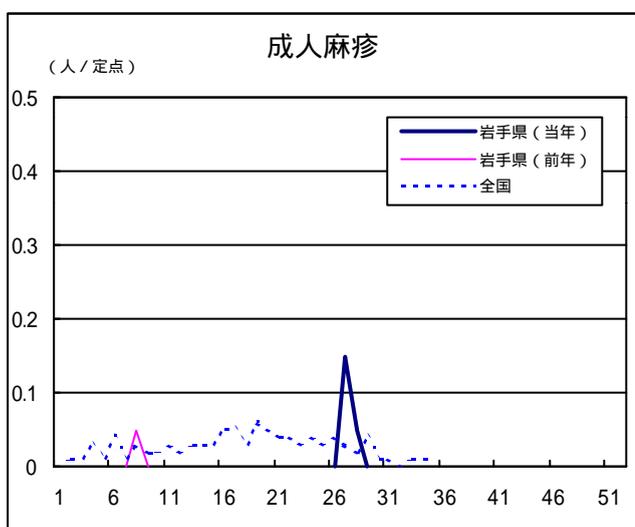
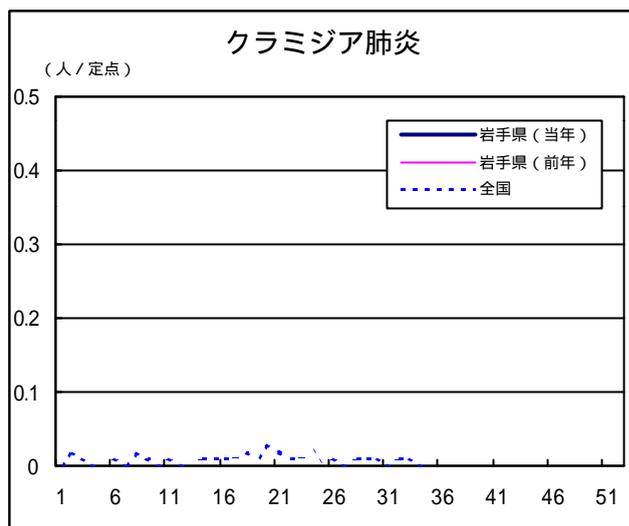
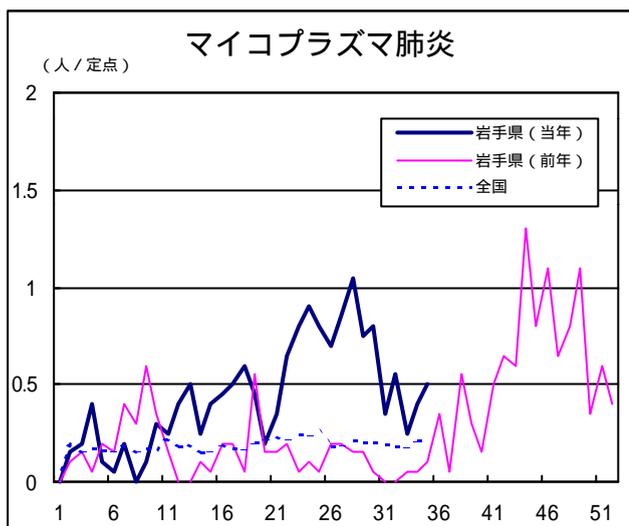
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。  
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）  
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1  
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667  
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする  
**「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」**を配信しています。  
 配信の登録は以下のURLからお願いします。  
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成15年第35週 平成15年9月5日発行  
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会  
 発行：岩手県環境保健研究センター  
 岩手県保健福祉部保健衛生課  
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター  
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)  
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1  
 TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667  
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp  
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>  
 <岩手県結核・感染症情報センター>  
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>  
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>